

いつかお子さまと 性の話をするために…

九州大学大学院医学研究院保健部門
修士課程助産学
川田 紀美子

本日のお話

親子関係と健康行動との関係

健康の一側面としてのセクシャルヘルス

ゼミ生の研究結果紹介

母娘関係と家庭内性教育

C. Yamanaka, K. Kawata. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 17, 23, 8795, 2020.11.

父娘関係と家庭内性教育

R. Kawahara, K. Kawata et al. *the 24th East Asian Forum of Nursing Scholars*. 2021.4.(accepted)

提言

こどもは親子関係の中から健康行動を身につけます



健康の一側面としてのセクシャルヘルス

日本人女性の平均初交年齢は、19歳前後（約7割は学生）

出産希望年齢は、約30歳

性感染症は全体として横ばいから増加、20代の感染者は増加



自身のライフプランにあわせて、
望まない妊娠や性感染症の予防が大事

性には「体の性」「心の性」「好きになる性」がある
性感染症に関しては、異性間以外の性交渉にも留意する

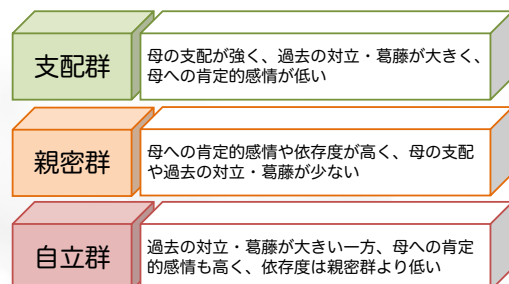
20歳以上の女子大学生329名を対象
にした無記名アンケート調査の紹介

母娘関係と

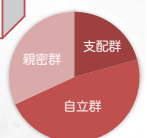
- ①家庭内性教育の実施
- ②性的リスク対処意識
- ③娘の性行動

にはどのような関連があるか検討した

母娘関係 3タイプ

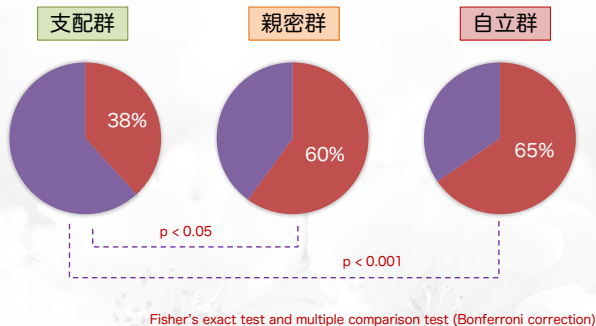


母娘関係尺 24項目を因子分析し、4因子を抽出。その後クラスター分析を行い、3タイプを採用。



母娘関係タイプ別にみた違い ①

Q: 性に関する相談を母親にしている



家庭内性教育14項目

回答が多い項目
少ない項目

月経の仕組みについて(月経のメカニズムや周期など)
月経の処理方法について(ナプキンや下着の選び方、処理方法など)
男女の体の違いについて(つくりや機能の違いなど)
男女の心の違いについて(考え方や意識の違いなど)
男女の交際について(異性を尊重する姿勢や規範意識など)
思春期の心の変化について
性交の方法について
避妊方法・避妊具の使用について
人工妊娠中絶について
性感染症の予防方法について
様々な性の在り方について(LGBTQなど)
性暴力、デートDVについて
メディアから性情報について(アダルトビデオやSNSなど)
性に関する倫理や道徳について(援助交際、風俗に対する認識についてなど)



家庭内性教育の実施時期

回答: 8項目

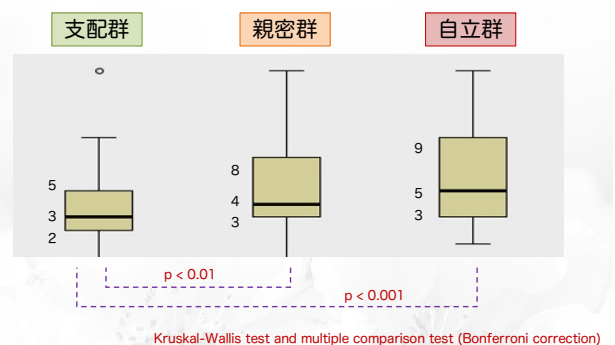
初めて生理が来た時	両親から話してくれた時
メディアなどで情報を得た時	学校で性教育を学習した時
初めてパートナーができた時	初めて性行為をした時
いつかわからないが話したことがある	話したことがない

月経については『初めて月経が来た時』、デートDVやLGBTQについては『メディアなどで情報を得た時』、性感染症予防は『初めて性行為をした時』、避妊方法については『初めてパートナーができた時』が最も多く回答 → 娘のライフステージに合わせて実施

家庭内性教育の全項目において、その実施時期に「学校で性教育を学習した時」が選択されていた

母娘関係タイプ別にみた違い ②

Q: 母親との性についての会話項目数 (14項目中)



母娘関係タイプ別にみた違い ③

性的リスク対処意識

性的関係におけるリスクを避けるための適切な行動がとれる
自己管理能力の認知

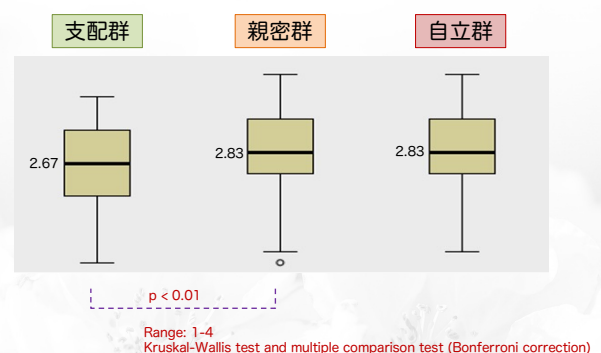
協調的管理型: 相手との良好な関係を築きつつ、性的リスクに対処する意識

積極的管理型: 自らが相手に働きかけようとする意識

自己管理意識: リスクを避けるための適切な行動がとれる
自己管理能力の認知

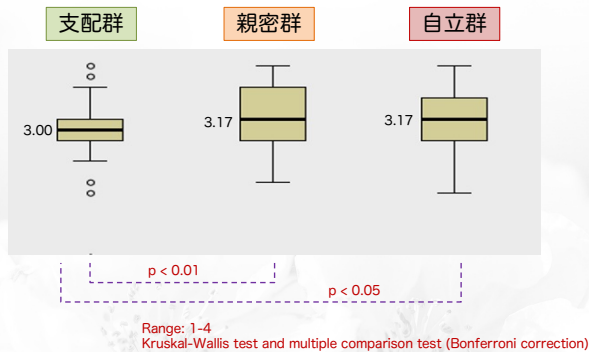
性的リスク対処意識

協調的管理型: 相手との良好な関係を築きつつ対処する意識



性的リスク対処意識

積極的管理型：自らが相手に働きかけようとする意識



3群で差がなかった項目

娘の性交渉経験率
性感染症罹患率
中絶経験率
性的リスク対処意識「自己管理意識」

母娘関係と家庭内性教育

自立群

母親との過去の対立・葛藤を経験しているが、現在は肯定的感情を抱いており、関係が修復されている

青年期の母娘関係の特徴の一つ
家庭内性教育の実施の多さに関連していた

娘が「肯定的感情を抱き、相談しやすい」と認識する関係性

家庭内性教育の実施の多さに影響を与えていることが示唆された

母親に肯定的感情を持つ良好な関係性と、性的リスク対処意識において、娘が**相手とのコミュニケーション能力をもつこと**と関連がみられた

20歳以上の女子大学生286名を対象にした無記名アンケート調査の紹介

父娘関係

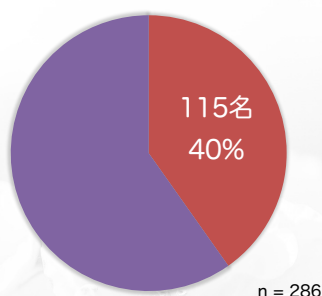
と家庭内性教育の実施にはどのような関連があるか検討した

父娘関係と家庭内性教育 ①

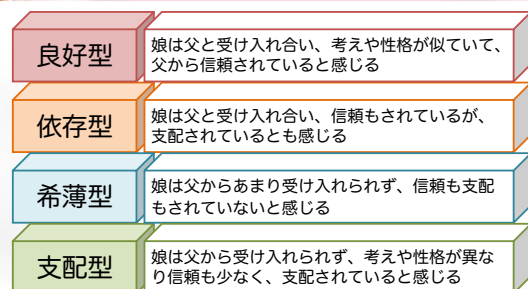
家庭内性教育（14項目）の中で、1つでも父親と話したことがある

多い項目

男女の交際について
LGBTQ
男女の心の違いについて
性暴力・デートDV



父娘関係 4タイプ

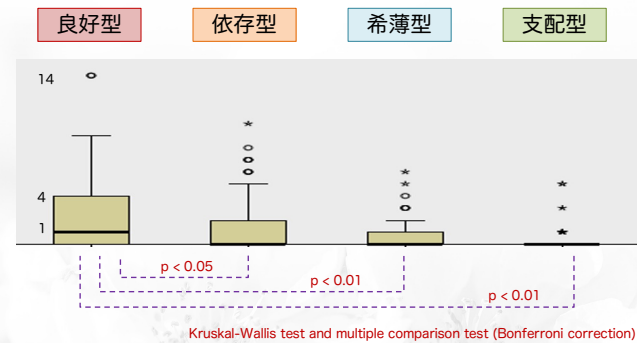


父娘関係尺 25項目を因子分析し、4因子を抽出。その後クラスター分析を行い、4タイプを採用。



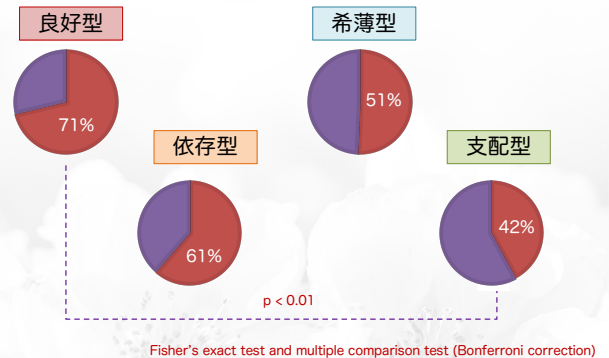
父娘関係タイプ別にみた違い

Q: 父親との性についての会話項目数 (14項目中)



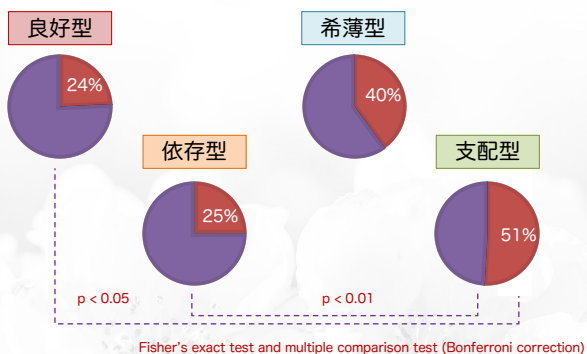
父娘関係タイプ別にみた違い

家庭内性教育14項目中1つでも、母親と話す割合



父娘関係タイプ別にみた違い

「家族の誰とも話さない」と答えた割合



父娘関係と家庭内性教育 ②

- 「初めて性交渉をした時」に父と話した人はゼロ
- 話す項目数は **良好型** が最も多く、**支配型** が最も少なかった。また **希薄型** では「両親から話してくれた時」が少なかった

娘が「父親に受け入れられ、共感し信頼し合い、自身の意志が尊重されてる」と認識する関係性

家庭内性教育の実施の多さに影響を与えていることが示唆された

提言

- ❖ 娘が認識する肯定的な親子関係は、家庭内性教育をすすめる上で重要
- ❖ 対立や葛藤を経験しても、乗り越える
- ❖ 父親と娘との会話も重要
- ❖ 「学校で性教育を学習した時」に話をしてみる

THANK YOU